

拝啓 寒中のみぎり、先生方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年もまた世界的な新型コロナウイルスの流行により、年初より例年と全く違った環境ではありましたが、その中でもオリンピック・パラリンピックの開催や一部学会では現地開催も可能であった時期もあり、with corona時代の幕開けを予感させられました。

しかしながら近年では新たな感染力の強い株の出現など、まだまだ気を抜くことができないのが現状であります。

当院においては前年と同様にコロナ病棟とICU、手術室などの心臓血管外科管理棟の動線を別にするにより、滞りなく待機手術のみならず緊急手術にも対応させていただきました。特に緊急手術につきましては京都市や枚方市、寝屋川市などからも広く受けさせていただきました。

術前術後の管理や手術においても高度な知識と経験を持つスタッフの尽力により、出血再開胸は今年も一例もなく、手術時間も短時間で医療資源も無駄に使うことなく対応することができました。

手術成績につきましては改めて年次報告として成績も含めてまとめてご報告させていただきます。

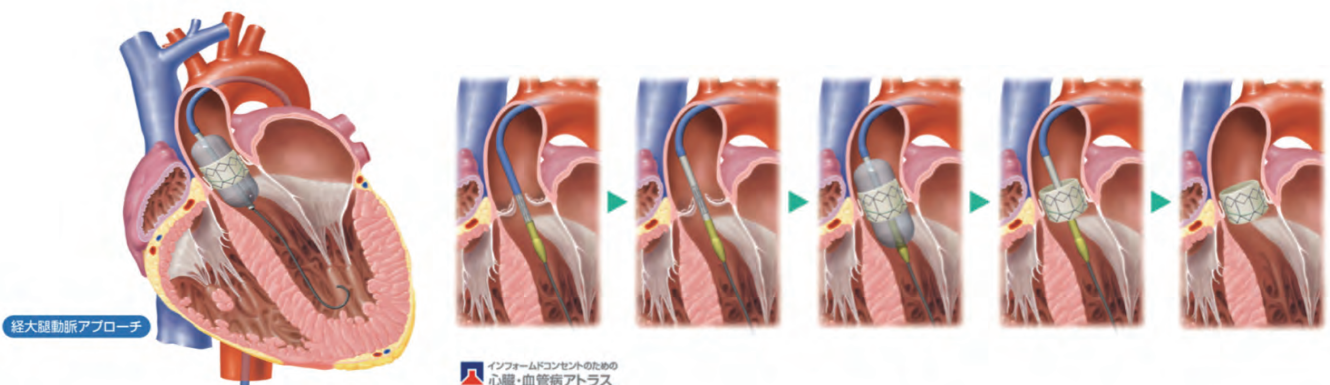


心臓血管外科 部長
小林豊

経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVI) を開始いたしました。

当院では手術件数やPCI数などはあるものの、市中病院であるがゆえか専門医数や経食道エコー実施数などがネックとなり、なかなか実施施設認定を受けることができませんでした。そこで弁膜症に特化したハートチームを作り直し、心不全を拾い上げ経食道エコーの数を増やしつつ、心臓血管外科部長である小林の以前在籍しており、日本でも随一のTAVI施設であります東京女子医大病院心臓血管外科 新浪博士教授のお力添えをいただき、専門医数を増やすことで昨年より導入が可能となりました。

虚血性心疾患などはまだまだハートチームとして課題が多く未熟な部分と考えておりますが、弁膜症ハートチームは心臓外科医も執刀医としてTAVIに参加することで内科・外科双方の目で確実な適応を判断させていただくことができると自負しております。多くの病院は内科、もしくは外科が主導をとることにかたちだけのハートチームとなることもあるようですが、当院ではそのようなことのないよう、常に厳しい目を持って診断、治療にあたらせていただきます。



TAVI の適応

心停止を必要としないため、これまで外科手術適応外であった超高齢者やADLの低い、いわゆるハイリスク患者に対して良い適応となります。

近年は開胸手術中等度リスクの患者も適応に入ってきております。

しかしながら弁輪破裂や大動脈解離、脳梗塞、AV blockなど、TAVIならではの合併症もそれなりに認められるため、その適応は慎重に考慮しなければなりません。

また外科弁との最大の違いは耐久性にあります。一般的な外科生体弁であれば15年以上の遠隔成績も出揃っておりますが、TAVI弁では現状で10年以下で弁破壊が進行すると言われ、アメリカをはじめ各国で再摘出などの問題となっております。

上記を踏まえ、当院では基本的に80歳以上をTAVIの第一選択として、さらに個別に状態を考慮して対応させていただきます。

大動脈弁狭窄症を疑ったら？

上記のようにこれまで手術適応とされなかった超高齢者やハイリスク患者についても積極的に受け入れさせていただきます。

失神や心不全入院で自宅退院が危ぶまれる場合や、外来エコーですでに大動脈弁狭窄症の診断がついている場合はもちろん、これまで通り当科ご一報いただければドクターカーでお迎えに行くことも可能でありますし外来にお掛けいただいても構いません。

また、診断に至らずとも心雑音などで疑わしい場合でもご用命いただければ外来にて1日で心臓血管精査をさせていただきます。何卒よろしくお願いたします。

心臓血管外科 担当表

月	火	水	木	金	土
小林(診察10:00~)	—	小林(診察10:00~)	—	—	担当医(紹介)
担当医(紹介)	—	担当医(紹介)	—	—	—

2022年1月現在

緊急手術に関しましても24時間365日対応しておりますため、お気軽にお声をおかけください。



—24時間受付—
心臓血管外科

不明な点がございましたら、宇治徳洲会病院 心臓血管外科までお問い合わせください。



地域医療連携室